

嘔吐物の処理方法

ー感染性胃腸炎（ノロウイルス等）対策ー

感染を防ぐためには、

PPE

+

消毒

+

手洗い

が重要です。

嘔吐物処理セットの例

- 1 手順書
- 2 次亜塩素酸ナトリウム
- 3 希釈用容器（ペットボトルやバケツ等）
- 4 バケツ（廃棄物用）
- 5 ビニール袋（ゴミ袋）2枚+予備
- 6 パーパータオルや使い捨てタオル等
- 7 不織布マスク
- 8 使い捨てガウン
- 9 使い捨て手袋 5組
主担当用：2組（重ねて装着）+ 1組
補助者用：2組
- 10 使い捨てシューズカバー



※廃棄物容器は汚染度が高いため、使用後は必ず消毒し、他の物品とは別管理が望ましい。

消毒液の希釈方法

（次亜塩素酸ナトリウム5～6％の製品を使用する場合）

0.1%

嘔吐物や下痢便で汚染された場所、トイレ等

水 1L に対して、

次亜塩素酸ナトリウム 約 20mL

0.02%

ドアノブ、手すり等の手が触れやすい場所

水 1L に対して、

次亜塩素酸ナトリウム 約 5mL

- ◇ 手指消毒には使用しない。
- ◇ 十分に換気を行い、吸い込まないように注意する。
- ◇ 金属に対する腐食性や、漂白（変色）作用があるため、使用に注意する。
- ◇ 有毒ガスが発生するため、酸性の製品と混ぜて使用しない。
- ◇ 時間が経つと効果が低下するため、作り置きせず、希釈後は速やかに使用する。
- ◇ 原液は冷暗所で保管し、使用期限を守って使用する。

次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合（布製品など）

十分に汚物を落としてから 85℃ で 1分間以上加熱 する。（煮沸、スチームアイロン等）

やむを得ず、汚物がついた物品を運ぶ時は、汚染を広げない工夫を

ビニール袋に入れる・非発症者の動線と交差しないルートで運ぶ・運搬中に触れた部分を消毒する等

初期対応は、複数人で
分担しましょう！

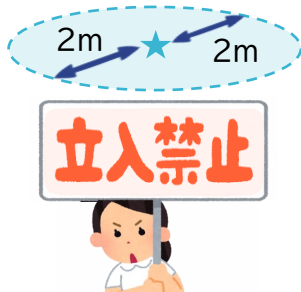
嘔吐物処理の手順 ※一例です

1 周囲の人を避難させ、換気を行う。

換気係



2 消毒する範囲（嘔吐物★から半径約2m）を決め、立ち入らないよう指示する。



3 必要物品を準備し、消毒液を作る。



4 バケツにビニール袋を2重にセットし、以下の个人防护具を着る。



5 嘔吐物をペーパータオル等で覆い、外側から内側に集めるように静かに拭き取り、内側のビニール袋に捨てる。



6 拭き取り作業後、外側の手袋を外し、**5**の袋に捨てる。



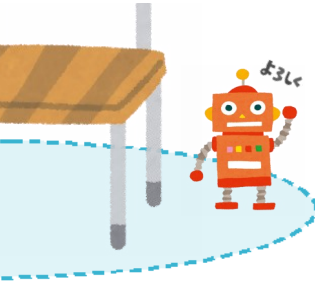
7 **6**の袋の中身に消毒液をかけ、袋を密閉する。



8 **2**で決めた消毒範囲をペーパータオル等で覆い、消毒液をかける。（10分程度置く）



9 消毒範囲内に机や椅子の足、壁、備品などがある場合、消毒液で丁寧に拭く。



10 手袋・ガウン・シューズカバーを外して外側のビニール袋に捨て、手を洗う。



11 10分程度経過後、新しい手袋をつけて**8**のペーパータオルを集め**10**の袋に捨てる。



12 最後に、手袋・マスクを外して**10**の袋に捨て、密閉する。



13 作業後は、石鹸と流水でしっかりと手洗いをを行う。



14 消毒した場所は、金属部分などを中心に水拭きを行う。



15 消毒後も最低1時間以上は換気をする。



16 ウイルスは、症状回復後も便中に排出され、環境中でもしばらくの間生存するため、嘔吐箇所に限らず、よく触れる場所（ドアノブ等）の消毒も行う。

